

## 北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	間脳下垂体腫瘍、神経内分泌腫瘍におけるスプラバシン、スプラバシン由来ペプチド、(プロ)レニン受容体、LAT1、NR4A1、SIK1 の発現と臨床的予後の関連についての単施設後方視的研究(B20-377)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部内分泌代謝内科学 助教 田口 朋
本研究の概要・背景・目的	スプラバシンという蛋白質は癌の進行、浸潤、転移に関与している可能性があることが報告されています。スプラバシンを前駆蛋白とするスプラバシン由来ペプチドはスプラバシンの補足的な役割を果たしている可能性があります。しかしスプラバシン、スプラバシン由来ペプチドはともに生体内でどのような働きをしているかは不明な部分が多いです。また(プロ)レニンレセプターも身体の様々な部位で発現を認めますが、生体内での粹割に関しては不明です。間脳下垂体腫瘍や神経内分泌腫瘍はそれぞれの腫瘍の発生源は異なり、また臨床的な予後(内分泌学的異常の有無、視神経への圧排の有無、再発率)、好発年齢も大きく異なります。本研究は当院、北里大学東病院で間脳下垂体腫瘍または神経内分泌腫瘍の手術を受けた患者様を対象に腫瘍部分でのスプラバシン、スプラバシン由来ペプチド、(プロ)レニンレセプター、LAT1、NR4A1、SIK1 の発現に差が見られるかを後方視的に検討します。これらの検討によりスプラバシン、スプラバシン由来ペプチド、(プロ)レニンレセプター、NR4A1、SIK1 の生体内での生理学的意義、間脳下垂体腫瘍や神経内分泌腫瘍の病態解明につながる可能性を有しています。
調査データ該当期間	2006 年 1 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さま	上記期間に当院、または北里大学東病院で先端巨大症、クッシング病、頭蓋咽頭腫、ラトケ嚢胞、神経内分泌腫瘍の手術を受けた患者様
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2006 年 1 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データ、病理標本を使用します。
試料/情報の他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申し出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 所属・職位: 内分泌代謝内科 助教 担当者: 田口 朋(タグチ トモミ) 電 話: 042-778-8111(代表)